

かりん

Vol.19

2006年11月12日、本年度も工芸大の学園祭に合わせて第22回華輪会総会を開催いたしました。

当日は三井先生・永田先生・鈴木先生他、狩野先生・高木先生にお越しいただき、役員、そして会員4名での総会となりました。

総会終了後には諸先生方を交えての茶話会をいたしました。

会長より、

総会案内にも記載いたしましたが、下記の通り工芸大学(工学部)への入学優遇制度と寄付募集についての説明がありました。

2006年10月17日付けで学長より3同窓会宛に特別制度のお知らせを頂きました。

東京工芸大学への入学希望について

私たち女子短大卒業生のお子さんが東京工芸大学に入学希望の場合、優遇措置があることご存知ですか？

工芸大学の工学部では、すでにホームページに記載してありますので詳細はそちらをご覧くださいのですが、

芸術学部もホームページには載っていませんが、優遇措置がとれるよう学内で準備中なのです。工芸大学は設備も充実していますし、先生方や生徒が社会的に認められている大きな賞をとったり、私たちの母校同様魅力的な学校です。お年頃のお子さんで東京工芸大学に興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせしてみてもいかがでしょうか？

「東京工芸大学女子短期大学部の卒業生ですが、子供が入学希望しております・・・」と仰っていただければ一般受験生とは違う情報を得ることができますよ。(問い合わせ先：東京工芸大学 入試事務室)

東京工芸大学からの寄付募集について

東京工芸大学は実績もあるし(就職率も結構いいんですよ)魅力的な学校なのですが、少子化の影響を受け、これからの大学としての生き残りをかけていろいろな努力をしています。その中で、都心のアクセスのよい立地に学校所在地を移すことも検討されています。最近の学生さんは厚木の山奥4年なんてイヤーと思えば学校選びの選択肢からはずしてしまうんですね。

今回東京工芸大学の小野理事長から女子短大の卒業生にも寄付をご協力いただきたいとお知らせが同封してあります。普通の寄付募集の文面で漠然としたことしか書いてないのですが、一番大きな目標は中野区の駅前に大きな土地（公共施設跡地）を取得するため、の努力なのです。中野に芸術学部があるおかげで早くから駅前の公共施設跡地の払い下げ情報をつかみ、小野理事長自ら中野区役所や文部科学省にたびたび出向くなど、工芸大学が取得できるよう働きかけをしていたのですが、結局競争入札ということに決まってしまったのです。現在4～5校の大学がその跡地の競争入札へ参加する予定で、その競争入札に競り勝つためにも少しでも寄付のご協力をお願いしたいとのことなのです。

もし、不幸にも競争入札で負けてしまった場合にも、さらに魅力ある学校になるために活用いただけるのご趣旨賛同くださる方は文面をよくお読みいただきご協力くださいますようお願いいたします。